



藤田 晃彦 麻酔科部長

栃木県栃木市出身

秋田大学卒業

麻酔科専門医

獨協医科大学附属病院旧第2麻酔科で研修

埼玉県や茨城県の病院で勤務

2026年5月1日、城西病院の麻酔科部長として
入職しました。

「医師となって、麻酔科を選択したのは、全身管理で、患者さんの局部だけでなく、全身を診ていくという点にひかれたから」と語ります。そして「父は栃木市で電気工事業を営み、子供のころよく仕事に連れて行ってもらいました。よく結城市内の国道50号を通り、結城はなじみのある街です」と話します。

「麻酔科の使命は、患者さんの生命維持を達成して無事に帰すこと。入院してから退院するまでの一部分だけのふれあいとなりますが、それが達成感につながっています」とし、「麻酔科は成功して当然。絶対失敗は許されない。患者さんが安心安全に手術を乗り越えられるようにするのが一番です」と抱負を語ります。

秋田大学では、生物研究会に所属し、毒キノコの研究を行っていたといいます。「法医学の先生と研究していました。麻酔科は劇薬を使うケースもあり、毒キノコを研究していたのが麻酔科に進むきっかけになったのかもしれませんが」と笑う

獨協医科大学では、ICU（集中治療室）と救急医療を担当。「手術では、血圧など2分半ごとに監視していかないといけない。ICUでも患者さんを診るのはICUに運ばれてから一般病棟に移るまでの間です。一般の診療科では、病院を訪れた時から退院するまで患者さんを診ますが、そこが大きく違うところです」と話す。

趣味は資格取得といい、第一級アマチュア無線技士を取得しているうえに、国内のすべての無線機器を扱うことのできる第一級陸上無線技術士も取得。このほか、第二種ボイラー技士や危険物取扱者や電気通信主任技術者、第二種電気工事士、第三種電気主任技術者など多彩。そして最近は電機や通信などから離れ、測量士補や宅地建物取引士を取得したといいます。